

商 工 勞 働 部

1. 部総括表

部名：商工労働部
(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
6-1	産業政策課	(6,722) 5,511,436	(6,338) 2,388,341	3,104,607	(384) 18,488	
6-2	企業立地推進課	2,462,673	2,407,879		54,794	
6-3	経営支援課	(10,744) 47,762,535	(9,229) 46,619,101	46,881	(1,515) 1,096,553	
6-4	労働政策課	(18,121) 1,199,646	(15,696) 1,104,996	28,574	(2,425) 66,076	
6-5	労働委員会事務局	61,902	59,416		2,486	
	部計	(35,587) 56,998,192	(31,263) 52,579,733	3,180,062	(4,324) 1,238,397	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

2. 課総括表

課名：産業政策課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
6-1-1	希少糖関連プロジェクト事業	33,573	32,979		594	主要施策の成果の概要 (6-1-1)に記載
6-1-2	かがわ健康関連製品開発地域構想推進事業	15,707	14,090		1,617	主要施策の成果の概要 (6-1-2)に記載
6-1-3	企業海外展開支援事業	50,496	48,765		1,731	主要施策の成果の概要 (6-1-3)に記載
6-1-4	次世代ものづくり産業育成事業	164,379	160,629		3,750	主要施策の成果の概要 (6-1-4)に記載
6-1-5	スタートアップ支援事業	32,709	32,706		3	主要施策の成果の概要 (6-1-5)に記載
6-1-6	新かがわ中小企業応援ファンド等事業					主要施策の成果の概要 (6-1-6)に記載
6-1-7	創業・ベンチャー企業育成支援事業	17,246	16,029		1,217	創業者、第二創業者等に対する相談窓口の設置、施設の提供、販路の開拓など事業の各段階に応じた総合的な支援に要する経費
6-1-8	地域産業高度化推進事業	258,389	257,537		852	(公財)かがわ産業支援財団の運営費補助等に要する経費 給料59,341 職員手当等20,976 共済費6,255
6-1-9	商工労働事務費	194,071	192,715		1,356	産業政策課の運営等に要する経費 給料94,750 職員手当等60,283 共済費35,052
6-1-10	新規産業創出支援センター・科学技術研究センター運営事業	(3,619) 136,474	(3,619) 135,209		1,265	新規産業創出支援センター及び科学技術研究センターの管理運営に要する経費
6-1-11	人権啓発支援事業	287	286		1	中小企業者等に対する人権啓発に要する経費
6-1-12	産業技術開発等基金積立金	192	192			かがわ農商工連携ファンド貸付金の償還に伴う基金への積立に要する経費
6-1-13	大阪事務所運営管理事業	89,181	88,241		940	大阪事務所の管理運営等に要する経費 給料29,594 職員手当等26,491 共済費12,043
6-1-14	産業技術センター維持管理事業	(3,103) 406,467	(2,719) 398,129	4,607	(384) 3,731	産業技術センターの維持管理に要する経費 給料163,878 職員手当等99,162 共済費57,528
6-1-15	産業技術振興等事業	49,219	48,270		949	県内企業のニーズに広く応え、技術開発等を支援するため、技術相談等の対応、依頼試験、県内企業との共同研究等に要する経費
6-1-16	新型コロナウイルス感染症関連事業	4,063,046	962,564	3,100,000	482	主要施策の成果の概要 (6-1-16)に記載
	課計	(6,722) 5,511,436	(6,338) 2,388,341	3,104,607	(384) 18,488	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (3.31現在)

課名：産業政策課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
産業政策課	[2] (15) 22	1	[2] (15) 23	かがわ産業支援財団派遣14名 ジェトロ・シンガポール事務所派遣1名
大阪事務所	7	3	10	
産業技術センター	40	11	51	
合計	[2] (15) 69	15	[2] (15) 84	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を〔 〕内書きにより、当該所属以外で勤務する者を（ ）外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>希少糖関連プロジェクト事業（6-1-1）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>本県における産学官連携による研究成果である希少糖を本県産業の成長につなげるため、大学での希少糖研究の強化などにより世界をリードする「知の拠点」を形成するとともに、産学官一体となった「希少糖クラスター」の形成、世界に通じる「香川の希少糖」ブランドの確立を図った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 希少糖拠点機能強化事業（5,907千円） 産業技術センターにおいて、香川大学などと連携して希少糖を用いた地域食品の開発や品質向上の研究等に取り組むとともに、希少糖を用いた新商品開発を支援し、希少糖研究拠点としての強化を図った。</p> <p>(2) 希少糖研究開発加速化支援事業（10,000千円） 県内企業の希少糖産業への参入や次なる事業への展開を促進する香川大学の希少糖研究を支援し、研究開発の加速化を図った。</p> <p>(3) 糖質バイオ商品開発支援事業（7,717千円） 香川大学等の糖質バイオ分野の研究成果を事業化する県内企業の取組みを支援した。</p> <p>(4) ネットワーク等形成事業（1,034千円） 希少糖関連プロジェクト事業を効果的に進めるための希少糖戦略会議を開催したほか、かがわ糖質バイオフォーラムによる情報交換やネットワーク形成を通じ、産学官が連携した希少糖の普及、事業展開を推進した。</p> <p>(5) 香川の希少糖ブランド化推進事業（8,321千円） 県内事業者の希少糖関連商品の販路拡大を促進するほか、県内外のイベント等において「希少糖＝香川県」のイメージを発信、浸透させることにより、本県の希少糖産業の拠点としての地位と、希少糖ブランドの確立を図った。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県が支援した純品の D-プシコースを使用した希少糖関連製品の開発による商品化件数〔累計〕 (件)</p> <table border="1" data-bbox="941 392 1420 560"> <thead> <tr> <th>基準値 (H23～27)</th> <th>実績値 (H28～R2)</th> <th>目標値 (H28～R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>7</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>調理過程における希少糖の量的変化に係る試験研究や希少糖の醸造微生物への影響の研究（香川大学との共同研究）を実施</p> <p>希少糖生産研究による次世代糖資源の開発など香川大学が実施する3テーマの研究を実施</p> <p>県内企業2社に補助金を交付</p> <p>希少糖戦略会議・同部会を6回開催、かがわ糖質バイオフォーラムシンポジウムを1回開催</p> <p>FOODEX JAPANに「香川の希少糖」ブースを出展（県内企業7社） 県内1小学校にて出前講座を実施</p>	基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)	—	7	20
基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)					
—	7	20					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>かがわ健康関連製品開発地域構想推進事業（6-1-2）</p> <p>1. 趣旨・概要 今後の成長が見込まれる医療や福祉などの健康関連産業の創出を図るため、県内企業の健康関連製品の開発や当該分野への新規参入を促進するための支援を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) かがわ健康関連製品開発地域構想推進事業 (3,841千円) 事業化を推進するために設置した「かがわ健康関連製品開発フォーラム」等の運営を通じ、健康関連分野での製品開発に必要な情報提供や産学官連携の促進、人的ネットワークの構築を図った。</p> <p>(2) 健康関連製品開発促進支援事業（10,249千円） 県内企業による医療・福祉機器等の開発に係る支援を行った。</p>	<p>3. 指標 県が支援した健康関連製品の開発による商品化件数〔累計〕 (件)</p> <table border="1" data-bbox="943 353 1422 517"> <thead> <tr> <th>基準値 (H23~27)</th> <th>実績値 (H28~R2)</th> <th>目標値 (H28~R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>20</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>セミナーを1回、薬事マネジメント相談会を2回開催 HOSPEX JAPAN に香川県ブースを出展 (県内企業7社)</p> <p>県内企業4社に補助金を交付</p>	基準値 (H23~27)	実績値 (H28~R2)	目標値 (H28~R2)	11	20	15
基準値 (H23~27)	実績値 (H28~R2)	目標値 (H28~R2)					
11	20	15					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>企業海外展開支援事業（6－1－3）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>県内企業の海外展開を戦略的に支援するため、ジェトロ香川内に設置した「香川県海外ビジネス展開促進センター」において情報提供等を行うとともに、県内企業の海外展開を担う人材を育成するための講座を開催した。</p> <p>また、海外展開の状況に応じて、準備段階から契約段階に至るまでの総合的な支援を行い、県内企業の海外展開を促進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 貿易・国際投資支援事業（22,986千円）</p> <p>ジェトロ香川に設置した「香川県海外ビジネス展開促進センター」において、海外展開に関心のある県内企業等に積極的に働きかけ、ニーズに合わせた情報提供や課題解決支援を行うとともに、県内企業の海外展開を担う人材を育成するための講座を開催するなど、ジェトロ香川の機能を活用して、県内企業等の海外展開の支援を行った。</p> <p>(2) アジアビジネスサポート事業（6,918千円）</p> <p>県内企業のアジアビジネスをサポートするため、ジェトロ・シンガポールへ職員を派遣し、海外取引に関するノウハウを持つ職員を育成するとともに、県内企業に対する情報提供や販路開拓支援を行った。</p> <p>(3) 直行便就航国・地域ビジネス展開支援事業（3,174千円）</p> <p>①台湾販路開拓支援事業（138千円）</p> <p>台湾とオンライン商談会を開催し、県内企業の台湾市場への販路開拓等を支援した。</p> <p>②上海ビジネス展開支援事業（3,036千円）</p> <p>上海地域でのビジネス展開を促進するため、現地に「上海ビジネスサポーター」を配置し、県内企業の現地視察や販路開拓等に対する支援のほか、現地の最新情報の収集・提供などを行った。</p> <p>(4) 海外ビジネスチャンス活用支援事業（1,512千円）</p> <p>①海外ビジネスチャンス活用講座開催事業（207千円）</p> <p>ESG投資の呼びみや企業価値を高めるべく、SDGsの考え方を企業の経営戦略に組み込むことで海外ビジネスチャンスを拡大できるよう、SDGsに関する講座を会場参加及びオンライン参加併用で開催した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>海外展開を行った企業数（貿易取引・海外進出・海外提携企業数の延べ数） （暦年）（社）</p> <table border="1" data-bbox="941 392 1420 560"> <thead> <tr> <th>基準値 （H26）</th> <th>実績値 （R2）</th> <th>目標値 （R2）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>391</td> <td>404</td> <td>453</td> </tr> </tbody> </table> <p>人材育成講座：9回開催、延べ172名</p> <p>県内企業8社、台湾企業11社参加、商談16件</p> <p>マッチング候補企業の提供：1件 ビジネス相談：2件</p> <p>会場参加：18名 オンライン参加：29名</p>	基準値 （H26）	実績値 （R2）	目標値 （R2）	391	404	453
基準値 （H26）	実績値 （R2）	目標値 （R2）					
391	404	453					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>②海外ビジネスチャンス活用支援事業（1,305千円） ジェトロの貿易投資相談事業等を活用して輸出や海外進出を行おうとする県内企業に対して、ホームページ等の多言語化に係る費用や契約書の作成などを行うために必要な弁護士等の専門家への相談に係る費用等を補助した。</p> <p>(5) 知的財産推進事業（14,175千円） 香川県知的所有権センターに知的財産コーディネーターを配置するとともに、日本弁理士会の協力のもと知財経営塾を開催したほか、県内企業に大企業の開放特許等とのマッチングの機会を提供した。 また、海外における県内地名等の抜駆け商標出願・登録対策として、中国商標局等のデータベースを定期的に調査し、海外での県内地名を含んだ商標出願に対し、事業者団体らとともに異議申立てを行った。</p>	<p>県内企業4社に補助金を交付</p> <p>特許及び実用新案出願件数〔累計〕 (暦年) (件)</p> <table border="1" data-bbox="943 600 1422 763"> <thead> <tr> <th>基準値 (H23～27)</th> <th>実績値 (H28～R2)</th> <th>目標値 (H28～R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,462</td> <td>2,287</td> <td>2,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>異議申立て：中国1件</p>	基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)	2,462	2,287	2,800
基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)					
2,462	2,287	2,800					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>次世代ものづくり産業育成事業（6-1-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 ものづくり基盤技術産業及び食品産業の振興を図るため、高付加価値な製品・商品開発の支援、国内外への販路開拓・受注拡大の支援、技術の高度化や研究開発の支援などを行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) かがわ Society5.0（超スマート社会）推進事業（93,082 千円）</p> <p>①かがわA I ゼミナール開催事業（18,087 千円） A I 技術の利活用を推進する人材を育成するため、県内企業の技術者等を対象に、A I の実践的な知識・技術を基礎から応用まで体系的に学習する講座を実施した。</p> <p>②かがわA I +活用支援事業（689 千円） I o T や A I に関する県内企業からの技術相談等に産業技術センターに設置した相談窓口で対応するとともに、技術に関心のある企業等を会員とする技術分科会において、技術導入を図る企業に対する支援を行ったほか、技術活用講習会を開催した。</p> <p>③A I 等先端技術活用型研究開発支援事業（74,306 千円） A I をはじめとした先端技術の活用など、県内企業の成長のエンジンとなる分野への取組みについて、技術の高度化・商品開発の進度を高めるため、産業技術総合研究所と連携・協力して、研究開発に関する支援を行った。</p> <p>(2) スマートファクトリー活用等事業（6,398 千円） 県内企業の I o T、ロボット等先端技術の導入検討を支援するため、産業技術センター内に構築した疑似的スマート工場環境を活用し、最新のロボット技術を用いた生産工程効率化の基礎検証を行うとともに、企業向けの見学会等を開催したほか、ロボット要素技術の研究開発に取り組んだ。</p> <p>(3) ものづくり成長産業育成事業（5,547 千円） 県内企業の成長分野への進出を促進するため、企業等との連携のもと、C N F 等高機能素材関連技術の研究開発に加え、革新的なものづくり技術である金属・セラミックスの 3 D 積層造形関連技術の研究開発に取り組んだ。</p> <p>(4) ものづくり基盤技術高度化支援事業（1,549 千円） ものづくり基盤技術の高度化を目指して、難削材加工や溶接技術等の課題を解決できるよう県内企業の技術向上技能伝承を支援した。</p>	<p>3. 指標 産業技術センターの研究開発による製品化件数〔累計〕 (件)</p> <table border="1" data-bbox="938 353 1422 517"> <thead> <tr> <th>基準値 (H23~27)</th> <th>実績値 (H28~R2)</th> <th>目標値 (H28~R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88</td> <td>106</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>基礎講座（全8回：受講者19名） 応用講座（全6回：受講者34名）</p> <p>相談窓口相談件数：46件 I o T・A I 技術分科会4回開催 技術活用講習会2回開催</p> <p>県内企業6社（新規3社、継続3社）に補助金を交付するとともに、技術相談等を実施</p> <p>ロボット技術分科会5回、疑似的スマート工場見学会の実施、普及講習会2回開催</p> <p>C N F 製品開発支援講習会2回、海洋プラスチック問題関連勉強会1回、3D積層造形技術分科会4回開催及び普及講習会1回</p> <p>ものづくり基盤技術高度化分科会15回開催、アドバイザー巡回指導15社（延べ）実施</p>	基準値 (H23~27)	実績値 (H28~R2)	目標値 (H28~R2)	88	106	100
基準値 (H23~27)	実績値 (H28~R2)	目標値 (H28~R2)					
88	106	100					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(5) 戦略的食品産業強化事業 (11, 298 千円)</p> <p>①機能性食品産業強化事業 (1, 281 千円) 県内企業による特定保健用食品や機能性表示食品制度を活用するために必要な機能性評価等の取組みを支援した。</p> <p>②機能性食品開発支援事業 (2, 095 千円) 先進的な分析技術 (メタボロミクス解析技術等) を活用して、商品の差別化や県特産物などの優れた機能性を訴求した商品開発を支援した。</p> <p>③発酵食品関連産業強化事業 (6, 995 千円) これまで培った発酵技術をベースに、地元食材の活用や消費者の嗜好に合った食味の改善などを行い、安全・安心で、付加価値の高い商品開発を支援した。</p> <p>④冷凍食品産業基盤強化事業 (927 千円) 冷凍調理食品の課題解決に必要な加工技術の改善や新商品開発、人材育成を支援した。</p> <p>(6) オリーブ商品高品質化支援事業 (12, 772 千円) 県産オリーブオイルの世界最高水準化のため、オイルの品質向上に必要な原料果実の保存技術の向上やオリーブ産業従事者の技術力の高度化を図るとともに、事業者による新たなオリーブ商品の開発を支援した。 また、県産オリーブオイルの品質向上のための評価・分析体制の構築に向け、産業技術センター発酵食品研究所において化学分析に関する I O C (インターナショナル・オリーブ・カウンシル) の認定とその要件である IS017025 認定を取得するため、必要な施設・設備の整備や管理体制の構築、マニュアルの作成等を行った。</p> <p>(7) エネルギー関連産業育成支援事業 (3, 747 千円) エネルギー関連産業の育成に向けて、エネルギーに関するセミナーの開催を行うとともに、県内企業の販路開拓につながるようエネルギー関連技術・製品の見本市への出展を支援した。</p> <p>(8) スマートエネルギー普及促進事業 (7, 946 千円) 県内中小企業等が、県内企業等が開発、生産又は施工する先端的なスマートエネルギー設備等を導入する費用への補助を行った。</p> <p>(9) 県内中小企業設備投資資金利子補給補助事業 (61, 273 千円) 県内に本社又は事業所を有する中小企業者 (製造業) で、設備投資のために 1, 000 万円以上の資金借入を行ったものに対して、資金借入に伴う利子のうち年利 1 % 以下で算定期間内に支払われた額について利子補給補助を行った。</p>	<p>県内企業 3 社に補助金を交付</p> <p>県内企業 2 社の機能性評価を支援 香川県機能性表示食品等開発研究会を 2 回開催</p> <p>技術支援により、新たに商品化された発酵食品商品数 13 件</p> <p>研修会・講習会を 7 回開催</p> <p>技術支援した県内企業 7 社のオリーブオイルが品評会で入賞 技術支援により、新たに商品化されたオリーブ商品数 12 件</p> <p>セミナー開催 1 回 関西二次電池展に県内企業 3 社出展</p> <p>県内企業 3 社に補助金を交付</p> <p>令和 2 年度は 267 件、合計 61, 224 千円の利子補給補助金を交付</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(10) 戦略的マッチング推進事業（13,738千円） 県内企業の成長分野への進出を促進するため、県内企業や香川大学等で構成される「かがわ次世代ものづくり研究会」における勉強会等や、四国4県連携のもと四国企業販路開拓マッチングプロジェクトに取り組んだ。</p> <p>(11) マーケティング力強化支援事業（866千円） 県内食品関連企業のマーケティング力強化を図るため、専門家による県内企業の売れる商品づくりや販路開拓などを支援した。</p> <p>(12) RPA・IoT導入支援事業（3,686千円） 県内中小企業の生産性向上を図るため、RPA・IoTの導入を希望する企業に対し個別コンサルティングを実施し、その導入支援を行った。</p>	<p>勉強会1回 展示商談会 関西機械要素技術展 四国4県が連携し、四国企業17社（本県8社）が出展</p> <p>商品開発や販路開拓を支援するセミナーを1回開催し、24団体から37名が参加</p> <p>セミナー開催4回 （RPA、IoT各2回） 個別コンサルティング支援11社 活動報告会1回</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>スタートアップ支援事業（6-1-5）</p> <p>1. 主旨・概要 創業による新たなビジネスの創造や第二創業等を促進するため、起業等のスタートアップ段階に要する経費の一部を補助した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 起業等スタートアップ支援事業（24,001千円） 地域の課題解決に資する事業（地域活性化関連、子育て支援、健康関連、買物弱者支援、まちづくりの推進など）や情報通信分野の創業などを支援するため、その初期段階に要する経費の補助を行った。 (2) 創業支援塾等開催事業（2,162千円） 創業しようとする者や創業間もない者を対象に、創業支援塾や創業シンポジウムを開催し、ビジネスプランの策定支援から創業後のフォローアップに至るまで、専門家による継続的なきめ細やかな支援を行った。 (3) 情報通信産業立地促進事業（6,543千円） 情報処理関連事業において新技術、新製品の開発を行おうとする創業5年以内または新事業へ進出しようとする事業者を支援するため、香川県新規産業創出支援センター（ネクスト香川）に情報通信型インキュベート工房を整備した。</p>	<p>3. 指標 開業した事業所数〔累計〕（件）</p> <table border="1" data-bbox="943 315 1422 477"> <thead> <tr> <th data-bbox="943 315 1098 398">基準値 (H22～26)</th> <th data-bbox="1098 315 1260 398">実績値 (H27～R1)</th> <th data-bbox="1260 315 1422 398">目標値 (H28～R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="943 398 1098 477">3,399</td> <td data-bbox="1098 398 1260 477">3,785</td> <td data-bbox="1260 398 1422 477">3,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>創業予定者 13 人に補助金を交付</p> <p>創業支援塾受講者：29 名 創業シンポジウム参加者：27 名</p> <p>情報通信型インキュベート工房：4 室 整備</p>	基準値 (H22～26)	実績値 (H27～R1)	目標値 (H28～R2)	3,399	3,785	3,500
基準値 (H22～26)	実績値 (H27～R1)	目標値 (H28～R2)					
3,399	3,785	3,500					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>新かがわ中小企業応援ファンド等事業（(公財)かがわ産業支援財団実施事業）（6-1-6）</p> <p>1. 趣旨・概要 新かがわ中小企業応援ファンド等を活用して、地域の活性化を図るため、中小企業者や地場産業関係組合などに対し、研究開発から販路開拓、人材育成までの総合的な支援を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 新分野等チャレンジ支援事業（9,251千円） 新分野進出のため、新商品開発や技術開発の初期段階の取組みなどに対する支援を行った。</p> <p>(2) 研究開発支援事業（32,952千円）</p> <p>①競争力強化研究開発支援事業（31,530千円） 独創的な研究開発や、特許権を活用した付加価値の高い新製品・新技術の開発等に対する支援を行った。</p> <p>②地場産業・地域資源活用支援事業（1,422千円） 地場産品または県が指定した地域資源を活用した新製品の開発等に対する支援を行った。</p> <p>(3) 販路開拓支援事業（16,476千円）</p> <p>①国内販路開拓支援事業（14,655千円） 新商品、新サービスや新技術で全国展開を目指す中小企業者などに対し、見本市等への出展支援を行うとともに、県外バイヤーとの個別マッチング商談形式によるリモート食品商談会を開催した。また、大手企業出身者の人脈及び経験を活用し、発注案件の発掘や情報収集を行った。</p> <p>②海外販路開拓支援事業（1,821千円） 海外進出を目指す中小企業者等に対し、国際見本市等への出展支援を行ったほか、国際取引アドバイザーを設置し、企業巡回や相談会を開催した。</p> <p>(4) 生産性向上・人材育成支援事業（7,180千円）</p> <p>①ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業（4,503千円） 製造現場におけるコスト削減等を目的に行う、専門コンサルタントを活用した製造現場の改善事業や、企業が実施する人材育成研修事業に対して支援を行った。</p> <p>②高度産業人材育成支援事業（2,677千円） IT専門技術、次世代ものづくり基盤技術などの専門技術研修を開催した。</p>	<p>県内企業 12 社に助成、7 件事業化</p> <p>県内企業 12 社に助成、6 件事業化</p> <p>県内企業 2 社に助成、2 件事業化</p> <p>県外見本市出展支援：県内企業 4 社 食品商談会：商談 82 件</p> <p>海外見本市出展支援：県内企業 1 社 国際取引に関する相談対応：21 件</p> <p>県内企業 4 社に助成</p> <p>13 講座、延べ 98 名受講</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(5) 創業ベンチャー支援事業 (4,467 千円) 新規創業者や創業間もない企業が行う、新規性、独創性のある事業などに対して支援を行った。</p>	<p>県内企業 3 社に助成、2 件事業化</p>
<p>(6) 農商工連携支援事業 (691 千円) 中小企業者と農林漁業者が連携して行う新商品・新サービスの開発や販路開拓等の支援を行った。</p>	<p>県内企業 3 社に助成、1 件事業化</p>
<p>(7) 地域資源活用等促進事業 (13,977 千円) ①地域資源ブランド化・販路拡大支援事業 (8,981 千円) 地域資源を活用した新商品開発やブランド化等に向けた取組みに対して支援を行った。 ②地域資源販路拡大支援事業 (4,996 千円) 地域資源を活用した販路拡大のための機会の提供と事業者へのフォローアップを実施した。</p>	<p>県内企業 5 社に助成、5 件事業化 地域資源販路拡大商談会：商談 297 件</p>
<p>(8) 新規案件発掘・事業化支援事業 (15,930 千円) コーディネーターを活用して、ファンド事業の新規案件の発掘や事業化の支援を行った。</p>	<p>延べ 223 件の企業訪問を実施</p>
<p>(9) 管理事務費等 (2,829 千円) 募集案内を作成し、県内企業等に広く PR を行い、また、事業の採択に当たり審査委員会を開催した。</p>	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>新型コロナウイルス感染症関連事業（6-1-16）</p> <p>1. 趣旨・概要 新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止対策、雇用の維持・事業の継続、地域経済の回復・活性化、感染症に強い社会・経済構造の構築に向けた各般の事業を実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金支給事業（939,365千円） 緊急事態措置として県が行う休業要請等に応じて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に協力する事業者に対して、協力金を支給した。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症関連経営支援強化事業（12,000千円） （公財）かがわ産業支援財団において、新型コロナウイルス感染症の影響をうける中小企業者等に対して、中小企業診断士等の専門家による経営相談窓口を設置するとともに、各種支援制度の周知、活用についてプッシュ型で情報提供を行うなど支援体制を強化した。</p> <p>(3) 企業向けオンライン研修等事業（3,000千円） 「新しい生活様式」の実践が求められる中で、県内事業者の事業活動を支援するため、（公財）かがわ産業支援財団においてオンライン研修等システムを整備した。</p> <p>(4) テイクアウト・デリバリー飲食店ポータルサイト構築事業（7,479千円） 「新たな生活様式」のひとつである、飲食店のテイクアウトやデリバリーの普及を広く図るため、こうした取り組みを紹介・支援するポータルサイトの構築等を行った。</p> <p>(5) 影響事業者試験研究等支援事業（720千円） 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者が、産業技術センターで機器利用や試験分析を行って商品開発や試験研究等を進める場合に必要な経費を支援した。</p>	<p>申請：6,160件（5月7日～6月12日） 支給：5,850件、935,800千円</p> <p>専門家相談件数：1,137件 架電によるプッシュ型情報提供：2,635件</p> <p>企業向けオンライン研修等システム 利活用件数：85件</p> <p>293店舗の情報をサイトに掲載し、51,282人から延べ268,715件の閲覧があったほか、新聞やSNSによる情報発信を行った。</p> <p>県内事業者21者に補助金を交付</p>

2. 課総括表

課名：企業立地推進課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
6-2-1	企業誘致事業 (助成金)	2,070,884	2,045,926		24,958	主要施策の成果の概要 (6-2-1)に記載
6-2-2	戦略的企業誘致 強化事業	4,463	3,930		533	主要施策の成果の概要 (6-2-1)に記載
6-2-3	一般企業立地費	83,691	83,548		143	給料42,634 職員手当等25,884 共済費14,498 事務費等532
6-2-4	香川県家賃応援 給付金支給事業	303,635	274,475		29,160	主要施策の成果の概要 (6-2-4)に記載
	課計	2,462,673	2,407,879		54,794	

3. 職員数の状況 (R3.3.31現在)

課名：企業立地推進課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
企業立地推進課	(3) 10	1	(3) 11	
合計	(3) 10	1	(3) 11	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を（ ）外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>企業立地促進事業（6-2-1）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>本県の持つ立地環境の強みや工場用地の特性を踏まえ、ターゲットを絞った効果的な情報発信や、トップセールス等による誘致活動の強化に努めるなど、優良企業の立地を促進し、地域経済の活性化や雇用機会の拡大等を図った。</p> <p>また、ワンストップサービス体制を強化し、企業の要望に迅速かつきめ細かに対応するとともに、優遇制度の充実など企業が操業しやすい環境づくりに努めた。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 企業誘致事業（2,045,926千円）</p> <p>①香川県企業誘致条例に基づく助成金（2,045,602千円）</p> <p>県内に工場等を設置した15社に対して助成金を交付するとともに、新たに助成対象企業として11社を指定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成対象 <p>対象施設の区分に応じて定める投下固定資産額、新規雇用等の要件を満たすもの</p> ・助成額 <p>対象施設の区分に応じて定めるところにより、投下固定資産額等を基礎に算出した額</p> <p>②企業立地新規雇用支援補助事業（324千円）</p> <p>助成対象施設を新設・増設した中小企業1社に対し、新規常用雇用の採用に要する経費を支援した。</p> <p>(2) 戦略的企業誘致強化学業（3,930千円）</p> <p>「香川県成長ものづくり分野等における基本計画」に基づく各種の施策を総合的に実施した。</p> <p>① 企業誘致強化学業（2,055千円）</p> <p>市町等と連携した積極的な企業訪問活動をはじめ、アンケート調査の実施や県外出身者のネットワークを活かした企業ニーズや設備投資動向の把握に努めた。</p> <p>② 企業立地促進強化学業（699千円）</p> <p>ホームページやパンフレットなどの広報媒体を活用して本県の立地環境や優遇制度等を県外企業にPRするなど、本県への立地や投資環境等に関する情報発信に、積極的に取り組んだ。</p> <p>また、本社機能の移転・拡充を推進するため、東京23区に本社を有する企業等を訪問し、誘致活動に努めた。</p> <p>③ 企業立地用地整備等支援事業（1,176千円）</p> <p>企業立地用地を県内に確保するため、市町が企業立地用地の整備のために行う候補地選定の調査等に要する経費を支援し、企業立地が進むよう努めた。</p>	<p>3. 指標</p> <p>企業立地件数〔累計〕 (件)</p> <table border="1" data-bbox="943 315 1422 472"> <thead> <tr> <th>基準値 (H23～27)</th> <th>実績値 (H28～R2)</th> <th>目標値 (H28～R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>142</td> <td>158</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年度立地件数 15件</p>	基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)	142	158	140
基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)					
142	158	140					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>香川県家賃応援給付金支給事業（6-2-4）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した事業者に対して、固定費のうち大きな負担を占める地代・家賃の負担軽減を図るため、国の家賃支援給付金に県独自の上乘せを行い、家賃応援給付金を給付し、事業者の事業継続を支援した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 香川県家賃応援給付金支給事業（274,475千円）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した事業者に対して給付金を給付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付対象者 <p>国の家賃支援給付金を受給している、県内に事業所を有する中小企業等及び県内に住所を有する個人事業者</p> ・給付額 <p>個人：国の支給決定額の原則1/8</p> <p>法人：国の支給決定額の原則1/10</p> 	<p>香川県家賃応援給付金</p> <p>給付件数 3,539件</p> <p>給付額 271,143千円</p>

2. 課総括表

課名：経営支援課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
6-3-1	中小企業振興資金融資事業	40,649,849	39,706,322		943,527	主要施策の成果の概要 (6-3-1)に記載
6-3-2	地場産業活性化対策事業	9,437	9,209		228	主要施策の成果の概要 (6-3-2)に記載
6-3-3	伝統的工芸品産業指導育成事業	7,232	6,960		272	主要施策の成果の概要 (6-3-3)に記載
6-3-4	中小企業BCP策定運用促進事業	4,100	3,700		400	主要施策の成果の概要 (6-3-4)に記載
6-3-5	事業承継支援事業	2,985	2,365		620	主要施策の成果の概要 (6-3-5)に記載
6-3-6	特色ある商店街づくり事業	11,325	11,272		53	主要施策の成果の概要 (6-3-6)に記載
6-3-7	小規模事業指導費	1,061,569	1,059,532		2,037	主要施策の成果の概要 (6-3-7)に記載
6-3-8	企業等持続化支援事業	5,406,291	5,269,105		137,186	主要施策の成果の概要 (6-3-8)に記載
6-3-9	県内中小企業設備投資資金利子補給補助事業	70,100	61,273		8,827	主要施策の成果の概要 (6-1-4)に記載
6-3-10	一般経営費	109,875	109,502		373	経営支援課の運営に要する経費 給料54,878、職員手当33,914、共済費20,207
6-3-11	砂利採取法施行事務費	242	168		74	砂利採取業務主任者試験の実施等に要する経費
6-3-12	計量検定所運営管理費	(10,744) 96,029	(9,229) 93,946		(1,515) 2,083	計量検定所の運営に要する経費 給料42,540、職員手当23,373、共済費13,372
6-3-13	計量検定事業費	20,867	5,716	14,827	324	計量法に基づく検定、検査に要する経費
6-3-14	計量検査事業費	1,628	1,538		90	計量法に基づく定期検査に要する経費
6-3-15	立入検査等対策事業費	193	152		41	計量法に基づく立入検査及び事業登録、届出等に要する経費
6-3-16	計量普及啓発等事業費	84	63		21	計量法に基づく適正計量の推進指導及び普及啓発等に要する経費
6-3-17	金融対策及び指導費	310	264		46	小規模企業者等設備導入資金特別会計繰出金及び指導事務費
6-3-18	組合等指導事業	72,525	72,293		232	香川県中小企業団体中央会等が実施する事業に要する経費等
6-3-19	産業交流センター管理運営費	176,253	176,252		1	産業交流センターの管理運営に要する経費
6-3-20	産業交流センター大規模改修事業	57,792	25,738	32,054		産業交流センターの大規模改修工事に要する経費
6-3-21	産業会館維持管理費	815	815			産業会館の維持管理に要する経費

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
6-3-22	小規模企業者等 設備導入資金事 後助言	100	100			設備資金貸付事業に係る診断・助 言業務等の委託に要する経費
6-3-23	大規模小売店舗 立地審査等事務 費	384	309		75	大規模小売店舗立地法に基づく審 査等に要する経費
6-3-24	経営相談支援等 事業	2,500	2,496		4	中小企業の経営、金融等の窓口相 談及び巡回指導に要する経費
6-3-25	中小企業診断・ 助言等事業費	50	11		39	中小企業者が取り組む高度化事業 に対する診断・助言等に要する経 費
	課計	(10,744) 47,762,535	(9,229) 46,619,101		(1,515) 1,096,553	

行上段の（ ）内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (3.3.31現在)

課名：経営支援課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
経営支援課	[2]12	[1]2	[3]14	
計量検定所	11		11	
合計	[2]23	[1]2	[3]25	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を [] 内書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>中小企業振興資金融資事業（6-3-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 県内中小企業者等の事業資金調達の円滑化を図り、企業経営の維持・安定に資するための融資事業を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 中小企業振興資金貸付金（38,229,940 千円）</p> <p>① 中小企業振興資金貸付金（38,220,000 千円） 取扱金融機関との協調により実施している融資について、その原資の一部を香川県信用保証協会を通じて預託した。</p> <p>② 債務負担行為に基づく香川県信用保証協会への損失補償金（9,940 千円）</p> <p>(2) 中小企業振興資金保証料補給金（44,015 千円） 基本保証料率と制度融資の保証料率の差によって生じる減収分について、香川県信用保証協会に補填した。 また、事業者が新規創業融資及びフロンティア融資を利用する際、香川県信用保証協会に支払う保証料の一部を補給した。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業 （717,324 千円） 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、影響を受けた中小企業者の資金繰りを支援するため、新型コロナウイルス感染症により売上が減少した中小企業者等に対し、利子補給を行った。</p> <p>(4) 危機関連融資保証料補給事業（715,043 千円） 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、影響を受けた中小企業者の資金繰りを支援するため、危機関連融資を利用する中小企業者等に対し、信用保証料の全額補給を行った。</p>	<p>令和2年度末の融資残高は16,529件、約2,327億7,900万円となっており、県内中小企業に対し必要な資金の円滑な供給を図ることにより、企業経営の維持・安定に寄与した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業、危機関連融資保証料補給事業により、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた中小企業者の事業継続や経営の安定に寄与した。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>地場産業活性化対策事業（6-3-2）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>地場産業等の活性化を図るため、後継者や職人の減少、プロモーション力不足等の課題に対する産地組合等の取組みを支援した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 伝統的ものづくり産業発展支援事業（9,209千円）</p> <p>漆器、石材、うちわ、手袋の産地組合が実施する販路開拓、インバウンド対応力を強化するためのプロモーション、人材育成、技術の伝承、専門家によるコンサルティングに要する費用等について、地元市と連携して支援するほか、伝統的工芸品製造団体等が実施する同様の取組みに対して支援した。</p>	<p>地場産業組合等が取り組む技術者育成やプロモーション活動を支援することにより、職人の資質向上、販路拡大及び認知度の向上に寄与した。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>伝統的工芸品産業指導育成事業（6－3－3）</p> <p>1. 趣旨・概要 伝統的工芸品産業を指導育成するため、伝統工芸士認定制度等の推進や伝統的工芸品の普及・PRなどを実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 伝統的工芸品産業指導育成事業（804千円） 伝統的工芸品の指定制度を運用するほか、製造従事者のうち、特に高度な技術・技法を有するものを伝統工芸士として認定した。</p> <p>(2) 伝統的工芸品展開催事業（6,156千円） 新しい生活様式や感染症拡大予防ガイドラインを踏まえた感染予防対策を講じた上で、「香川の伝統的工芸品展」を開催した。</p>	<p>伝統的工芸品の指定、伝統工芸士の認定を通じ、事業者の創作意欲の拡大に寄与した。</p> <p>また、伝統的工芸品展の開催等により、展示・販売機会が減少した伝統的工芸品の受注拡大と伝統的工芸品の普及・PRに寄与した。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>中小企業BCP策定運用促進事業（6-3-4）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>中小企業が、災害等による事業資産の損害を最小限に留め、中核となる事業の継続や早期復旧ができるよう事業継続計画（BCP）の策定及び運用の推進を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>（1）中小企業BCP策定運用促進事業（3,700千円）</p> <p>①BCP策定支援セミナー・個別相談会（1,972千円）</p> <p>はじめて事業継続計画（BCP）策定に取り組む中小企業にも分かりやすい内容の、事業継続計画（BCP）策定セミナーを開催した。また、企業ごとの課題解決のため、個別相談会を実施した。</p> <p>②香川県中小企業BCP優良取組事業所認定（144千円）</p> <p>事業継続計画（BCP）策定の機運を高め、策定に取り組む中小企業を県が応援する仕組みとして、事業継続計画（BCP）を策定した中小企業のうち、優れた取組みを行っている9事業所を認定した。</p> <p>③中小企業BCP策定等支援補助（1,584千円）</p> <p>県内で製造業を営む中小企業者が、専門家等を活用して事業継続計画（BCP）を策定、又は既存の事業継続計画（BCP）の改善を行う際に要する経費の一部について、5件の補助を行った。</p>	<p>セミナーを6回、個別相談会を2回開催し、事業継続計画（BCP）の策定について、広く中小企業への働きかけを行った。</p> <p>また、香川県中小企業BCP優良取組事業所として、9事業所を認定し、県のホームページ等で公表するなど、事業所の信用力・信頼性や社会的評価の向上にも寄与した。</p> <p>さらに、中小企業BCP策定等支援補助により、県内で製造業を営む中小企業者のBCP策定等の取組を促進するとともに、地域産業の継続につなげた。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>事業承継支援事業（6-3-5）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>商工会・商工会議所、金融機関、事業引継ぎ支援センター等の支援機関と連携し、(公財)かがわ産業支援財団を事務局とする香川県事業承継ネットワークを活用しながら、後継者不在などで、事業の存続に悩みを抱える県内企業の円滑な事業承継の支援を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 事業承継支援事業（2,365千円）</p> <p>①事業承継支援事業費補助金（2,325千円）</p> <p>専門事業者を活用した事業承継計画の策定やM&Aによる第三者への事業引継ぎに取り組む中小企業に対し補助するものであり、8事業者に補助を行った。</p> <p>②事業承継税制の認定等（40千円）</p> <p>中小企業における事業承継円滑化のための税制特例を受けるための知事認定等を行った。</p>	<p>香川県事業承継ネットワークを活用した事業承継診断の実施等により、中小企業経営者への意識啓発を図っており、令和2年度は、3,992件の診断を実施した。</p> <p>また、事業承継支援事業費補助金、事業承継税制の認定等により、中小企業における円滑な事業承継を支援した。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>特色ある商店街づくり事業（6－3－6）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>活気ある商店街の再生に向けた持続可能な取組みを促進するため、中心市街地の活性化や魅力ある商店街づくりに取り組む市町、商店街団体に対する支援を通じて、まちづくりや中小小売商業の振興を図った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 中心市街地商業活性化促進事業（66 千円）</p> <p>中心市街地活性化法の円滑な施行を図るため、取組み市町へ情報提供・助言を行った。</p> <p>(2) 中心市街地商店街活性化支援事業（8,218 千円）</p> <p>市町が策定する「まちづくりビジョン」に沿った市町や商店街団体等が実施する中心市街地商店街活性化のための取組みに対し補助するものであり、県内4商店街団体等が実施した防犯カメラの設置や駐車場の舗装の修繕等に対して補助を行った。</p> <p>(3) 商店街インバウンド対応支援事業（61 千円）</p> <p>増加するインバウンドに対応して商店街の活性化を図るため、商店街振興組合等が行う外国人観光客の誘客や、新たな消費を呼び込むための取組みに対して、その経費の一部を補助する制度を設けたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度の応募はなかった。</p> <p>(4) 商業基盤施設整備費補助金返還金（2,927 千円）</p> <p>大工町・磨屋町市街地再開発事業に伴い、既存駐車場撤去にかかる国庫補助金・県費補助金の返還を受けた。</p>	<p>中心市街地商店街の商業活性化のためのイベントや街並み整備・保存等のための取組みに対して補助を行い、にぎわいの創出など中小小売商業の振興が図られた。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>小規模事業指導事業（6-3-7）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>地域経済社会の形成に大きな役割を果たしている小規模事業者の振興と安定、地域の活性化及び商工業の振興に寄与するため、商工会・商工会議所が小規模事業者に対して行う経営改善普及事業や地域活性化事業に対して交付金を交付した。</p> <p>また、商工会連合会が行う商工会指導事業に対し交付金を交付し、商工会議所連合会が行う商工会議所指導事業に対し補助を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 商工会・商工会議所への交付金（947,195千円）</p> <p>商工会・商工会議所が小規模事業者に対して行う相談・指導、講習会開催などの経営改善普及事業や地域活性化事業に対して交付金を交付した。</p> <p>(2) 商工会連合会への交付金（110,474千円）</p> <p>商工会連合会が小規模事業者に対して行う経営改善普及事業や、商工会の体制強化等のために講習会等を行う商工会指導事業に対して交付金を交付した。</p> <p>(3) 商工会議所連合会補助（1,690千円）</p> <p>商工会議所連合会が商工会議所の体制強化等のために講習会等を行う商工会議所指導事業に対して補助を行った。</p> <p>(4) 指導事務費（173千円）</p> <p>補助事業の指導に要する経費</p>	<p>商工会や商工会議所において、小規模事業者の金融、税務及び経営等に関する相談・指導をはじめ、地域の活性化及び商工業の振興に関する事業等を行った。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>企業等持続化支援事業（6－3－8）</p> <p>1. 趣旨・概要 新型コロナウイルス感染症の拡大により、特に大きな影響を受け、事業収入が減少した事業者に対し給付金を給付した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 企業等持続化支援事業（5,269,105千円） 国が行う持続化給付金の給付を受け、県内に事業所を有する中小法人又は県内に住所を有する個人事業者に対し、一律20万円の持続化応援給付金を給付した。</p>	<p>26,328件、合計5,265,600千円の持続化応援給付金を給付した。</p>

2. 課総括表

課名：労働政策課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
6-4-1	雇用対策事業	(18, 121) 337, 563	(15, 696) 280, 343	28, 574	(2, 425) 28, 646	主要施策の成果の概要 (6-4-1) に記載
6-4-2	県内企業人材確保拠点展開事業	67, 205	64, 244		2, 961	主要施策の成果の概要 (6-4-2) に記載
6-4-3	かがわ働き方改革推進事業	42, 873	37, 984		4, 889	主要施策の成果の概要 (6-4-3) に記載
6-4-4	一般労政費	457, 221	456, 335		886	労働政策課等の運営に要する経費 給料237, 861、職員手当等 133, 123、共済費74, 279
6-4-5	労働関係調査・相談事業	3, 529	3, 259		270	労働関係調査・相談に要する経費
6-4-6	勤労者福祉資金融資事業	136, 254	136, 254			勤労者福祉資金融資事業に係る協調融資に要する経費
6-4-7	ものづくり人材育成事業	4, 527	3, 189		1, 338	技能者の育成や技能尊重の促進に要する経費
6-4-8	技能向上対策事業	37, 124	30, 071		7, 053	技能検定試験等の実施に要する経費
6-4-9	職場適応訓練事業	466			466	中高年齢者等の職場適応訓練の実施に要する経費
6-4-10	職業訓練指導監督事業	532	307		225	高等技術学校運営に関する指導監督等に要する経費
6-4-11	就職困難者自立促進事業	1, 254	177		1, 077	就職困難者の自立促進等に要する経費
6-4-12	就職困難者雇用促進事業	397	385		12	就職困難者の雇用促進や、雇用対策協議会に要する経費
6-4-13	緊急雇用維持助成金事業	67, 240	56, 557		10, 683	主要施策の成果の概要 (6-4-13) に記載
6-4-14	テレワーク導入促進助成事業	25, 000	18, 665		6, 335	主要施策の成果の概要 (6-4-14) に記載
6-4-15	県内移住による新しい生活様式に対応するためのテレワーク推進支援事業	5, 050	4, 189		861	主要施策の成果の概要 (6-4-15) に記載
6-4-16	I C T活用による新しい働き方推進事業	3, 200	3, 030		170	主要施策の成果の概要 (6-4-16) に記載
6-4-17	離職者等のための合同企業面接会開催事業	3, 606	3, 402		204	主要施策の成果の概要 (6-4-17) に記載
6-4-18	かがわL I V E就職説明会開催事業	2, 559	2, 559			主要施策の成果の概要 (6-4-18) に記載
6-4-19	ワークサポートかがわW e b活動支援事業	1, 746	1, 746			主要施策の成果の概要 (6-4-19) に記載
6-4-20	感染症の影響を受けた労働者のための就労継続等支援事業	2, 300	2, 300			主要施策の成果の概要 (6-4-20) に記載
	課計	(18, 121) 1, 199, 646	(15, 696) 1, 104, 996	28, 574	(2, 425) 66, 076	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況（R3.3.31現在）

課名：労働政策課

（単位：人）

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
労働政策課	[4] (10) 15	[4] (1) 9	[8] (11) 24	育児休業1名
高等技術学校	29	35	64	休職1名
合計	[4] (10) 44	[4] (1) 44	[8] (11) 88	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を「」内書きにより、当該所属以外で勤務する者を（ ）外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>雇用対策事業（6-4-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 雇用の安定と促進を図った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) キャリア教育推進事業（3,729千円） 県内大学と連携し、県内企業の経営者等が講師となって県内企業の魅力などを発信する単位認定型の特別講義を実施した。 また、高校生が、働き方の基礎知識や県内就職の利点、県内企業の魅力などを学ぶことで、将来の選択肢として、正規雇用での県内就職が意識づけられるよう、外部講師による出前授業を行った。</p> <p>(2) 若手社員職場定着支援事業（6,500千円） 若手社員の職場定着を図るため、若手社員はもとより、先輩社員、経営者・人事担当者等に対して、研修やセミナーを実施した。</p> <p>(3) 若者の自立のための就労応援事業（9,965千円） 若年無業者等の職業的自立を支援するため、地域若者サポートステーションと連携して、ジョブトレーニングや基礎的職業能力を高める講座、臨床心理士による心理相談等を実施した。 また、発見誘導コーディネーターを配置し、地域若者サポートステーションに登録する必要がある対象者の掘り起こしを行った。</p> <p>(4) 女性・高齢者等新規就業支援事業（13,207千円） 人手不足に直面する中小企業等の人材確保及び多様な生き方に応じた就業機会の確保のため、「かがわ女性・高齢者等就職支援センター」において、現在職に就いていない女性・高齢者等を対象に、就労相談や個別セミナー、キャリアカウンセリング、職場実習等を実施した。</p> <p>(5) 高齢者就業機会確保事業（5,250千円） 高齢者に対して、地域に密着した仕事を提供して、生きがいの提供や社会参加の促進等を図るため、県シルバー人材センター連合会及びシルバー人材センターに対し、運営費の補助をした。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県の就職支援策における就職件数 (件)</p> <table border="1" data-bbox="941 353 1428 510"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>546</td> <td>800</td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学生向け特別設計講義 履修登録者数：257人 高校生向けキャリアデザイン教育 実施校数等：延べ11校36クラス</p> <p>若手社員対象研修会等 3回 上司・先輩社員対象研修会 4回 経営者、総務・人事担当者対象講演会 3回 ※経営者、総務・人事担当者対象講演会のうち1回目と2回目は講師のみオンラインでの登壇により実施</p> <p>地域若者サポートステーションでの 進路決定者数（H28～R2年度累計）(人)</p> <table border="1" data-bbox="941 1081 1428 1238"> <thead> <tr> <th>基準値 (H23～27)</th> <th>実績値 (H28～R2)</th> <th>目標値 (H28～R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>867</td> <td>433</td> <td>950</td> </tr> </tbody> </table> <p>ジョブトレーニング46人 基礎的職業能力を高める講座等428回 企業との連絡調整130回 ジョブトレーニングへの同行支援 149回</p> <p>かがわ女性・高齢者等就職支援センターでの相談件数：800件、うち就職者数：63人</p> <p>シルバー人材センターの就業率は 81.5%（R元年度：82.0%）</p>	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	546	800	700	基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)	867	433	950
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)											
546	800	700											
基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)											
867	433	950											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>(6) 障害者就職支援事業 (2,365 千円) 障害者の一般就労に係る県内企業と障害者双方の不安を解消するため、短期職場実習を障害者就業・生活支援センター（県内4か所）に委託して実施した。 また、障害者雇用を積極的に行っている県内企業の取組みを紹介する動画を作成するなど、障害者雇用に対する理解を深めるための支援を行った。</p> <p>(7) 外国人労働人材関係相談窓口運営事業 (3,107 千円) 外国人材を受け入れる県内企業や外国人材からの雇用等に関する相談をワンストップで受け付ける窓口を設置し、運営した。</p> <p>(8) 外国人材活躍支援事業 (4,254 千円) 外国人材の活躍・定着を図るため、外国人材を雇用する県内企業が、外国人材の日本語レベル向上のために行う研修等に要する経費の助成を行ったほか、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策として要請されている外国人材の入国時の待機に係る宿泊費用を助成した。</p> <p>(9) 外国人雇用促進事業 (4,019 千円) 県内企業における外国人材の受入れを促進するため、県内企業と留学生を対象とした交流会や企業説明会を開催するとともに、留学生受入校による留学生の県内就職の取組みに対する支援を行ったほか、県内企業及び監理団体等に対して、技能実習生の適正受入れや高度外国人材の活用等に関するセミナーを開催した。</p> <p>(10) 職業能力開発事業 (222,557 千円) ①高等技術学校運営管理事業 (38,792 千円) 高等技術学校の施設内において 15 学科 313 人の職業訓練を行った。 ②高等技術学校設備整備事業(42,092 千円) 高等技術学校の訓練に必要な設備・機器の整備等を行った。 ③再就職促進訓練事業 (114,746 千円) 民間教育訓練機関等に委託して、402 人の職業訓練を行った。 ④職業能力開発拡充事業 (10,732 千円) 民間教育訓練機関に委託して、建設機械操作の資格を取得できる訓練を 17 人に行ったほか、施設内訓練の定員枠を 12 人分設け、離転職者等を受け入れた。 ⑤障害者職業能力開発事業 (16,195 千円) 民間教育訓練機関に委託して、障害者 22 人の職業訓練を行った。</p>	<p>実習実施事業所数：75 事業所 実習実施者：85 人</p> <p>R 2 年度窓口相談実績：83 件</p> <p>日本語能力向上支援実績： 中小企業等 8 社、監理団体等 3 団体</p> <p>入国時待機費用支援実績：83 事業者</p> <p>交流会・合同企業説明会 1 回 (参加者数：留学生 77 名、企業 15 社) 留学生受入校補助実績：1 校 セミナー 各 1 回 (参加者数：技能実習 (39 名)、高度外国人材 (20 名) ※参加者重複あり)</p> <p>高等技術学校修了生の就職率 (委託訓練を含む。) (%)</p> <table border="1" data-bbox="941 1444 1428 1608"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>79.4 (H28.6月末現在)</td> <td>79.1 (R3.6月末現在)</td> <td>84.0</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (H27)	実績 (R2)	目標値 (R2)	79.4 (H28.6月末現在)	79.1 (R3.6月末現在)	84.0
基準値 (H27)	実績 (R2)	目標値 (R2)					
79.4 (H28.6月末現在)	79.1 (R3.6月末現在)	84.0					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(11) 認定職業訓練助成事業 (5,390 千円) 認定職業訓練を行う事業主団体等 2 団体に対し、訓練運営に要する経費等を補助した。</p>	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>県内企業人材確保拠点展開事業（6-4-2）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>県内企業の人材確保拠点（地方版ハローワーク）である就職・移住支援センター（愛称：ワークサポートかがわ）において、「若者の就職支援」、「県外からの就職支援」、「特定分野の人材確保」の3つのコンセプトのもと、学生等の求職者と県内企業とのきめ細かなマッチング支援、無料職業紹介業務を実施した。</p> <p>県内企業への就職を促進するため、県内外の若者を対象として、就職支援サイト「jobナビかがわ」やインターンシップ支援サイト「インターンシップナビかがわ」等を通じて県内企業の情報や魅力の発信に取り組んだ。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 県内企業人材確保拠点運営事業（50,224千円）</p> <p>就職・移住支援センターに人材採用コーディネーターを配置し、学生等の求職者と県内企業とのマッチング支援を実施したほか、「jobナビかがわ」や「インターンシップナビかがわ」等により県内企業の情報発信を行った。</p> <p>(2) 若者の就職支援拠点事業（10,344千円）</p> <p>① 合同就職面接会「かがわーくフェア」や小規模の合同就職面接会「うどん県お仕事ストリート」を開催した。</p> <p>② 県内企業の魅力を発信するため、県内企業見学会（動画配信）や企業向けのインターンシップセミナーを開催した。</p> <p>③ 県内外の大学キャリアセンターと県内企業との連携を促進するため、Webによる情報交換会を開催した。</p> <p>④ 大学年次の早い段階から県内就職を考える機会を提供するため、企業情報やワークサポートでの支援内容の動画を制作し、jobナビかがわ上に掲載した。</p> <p>(3) 県外からの就職支援拠点事業（2,577千円）</p> <p>① 中国・四国地域の大学に対してWeb会議システムを活用して就活セミナー等を開催した。</p> <p>② 来所が困難な学生等に向け、オンライン就活相談を開始した。</p> <p>③ 県外在住の学生が県内でインターンシップや合同就職面接会に参加するための交通費の支援を行った。</p> <p>(4) 特定分野の人材確保拠点事業（1,099千円）</p> <p>人材不足が顕著な建設業の事業者を対象に人材戦略（採用・育成・活躍）セミナーを開催した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県の就職支援策における就職件数（再掲） (件)</p> <table border="1" data-bbox="941 347 1428 526"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>546</td> <td>800</td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table> <p>就職相談件数：4,909件 職業紹介件数：575件</p> <p>かがわーくフェア 2回（8月、3月） うどん県お仕事ストリート 1回（1月） 県内企業見学会（動画配信） 8社4コース 企業向けインターンシップセミナー（動画配信2回、対面開催1回） 情報交換会3日間（10月）</p> <p>Web就活セミナー17大学 オンライン就活相談件数84件（10月～） 交通費助成実績：65件</p> <p>建設業人材戦略セミナー 1回（10月）</p>	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	546	800	700
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)					
546	800	700					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>緊急雇用維持助成金事業（6-4-13）</p> <p>1. 趣旨・概要 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休業により、労働者の雇用の維持を図ろうとする事業主に対し、休業手当等の一部を助成することにより、雇用の安定及び事業継続を図った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 香川県緊急雇用維持助成金事業（56,557千円） 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う県内事業所の休業等について、国の雇用調整助成金等の支給決定を受けた事業主に対し、助成を行った。 また、社会保険労務士による相談窓口を設置し、助成金等の申請手続きの支援を行った。</p>	<p>支給決定件数 584件 支給額 44,730千円 相談件数 66件</p>
<p>テレワーク導入促進助成事業（6-4-14）</p> <p>1. 趣旨・概要 県内の中小企業事業主が新型コロナウイルス感染症に関する対策及び時間外労働の制限その他労働時間等の設定の改善のため、在宅又はサテライトオフィスにおいて就業するテレワークに取り組むことを目的として、テレワーク導入に係る経費の一部を支援し、県内中小企業における感染症対策及び働き方改革の推進を図った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) テレワーク導入促進助成事業（18,665千円） 新型コロナウイルス感染症対策として、国の助成制度を活用してテレワークの新規導入に取り組む中小企業事業主に対し、テレワーク導入に係る経費の一部を支援した。</p>	<p>支給決定件数 54件 支給額 18,665千円</p>
<p>県内移住による新しい生活様式に対応するためのテレワーク推進支援事業（6-4-15）</p> <p>1. 趣旨・概要 県外に本社を有する法人等がサテライトオフィスを香川県内に新設する場合に、その経費の一部を補助することにより、新しい生活様式による働き方を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症に伴う地方への関心の高まりを踏まえた県内への新規立地や移住等を促した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 県内移住による新しい生活様式に対応するためのテレワーク推進支援事業（4,189千円） 県内において、サテライトオフィスの開設を行う県外の事業者に対して必要な経費の一部を補助した。</p>	<p>支給決定件数 3件 支給額 3,319千円</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>I C T活用による新しい働き方推進事業（6-4-16）</p> <p>1. 趣旨・概要 テレワークやW e b面接など、I C Tの活用により、感染症リスクに対応した業務形態や働き方への転換を促進するため、中小企業等を対象としたセミナーを開催するなどした。</p> <p>2. 具体的内容 (1) I C T活用による新しい働き方推進事業（3,030千円） 中小企業におけるテレワークやW e b面接システムの導入に向けた基礎的な事項についてのセミナー動画を作成して配信するとともに、W e b面接システムの導入をサポートする窓口を設置したほか、中小企業がW e b面接システムを導入する場合の経費を補助する制度を創設した。</p>	<p>W e b面接システム導入促進セミナー動画の配信（10月） W e b面接システム導入サポート窓口の開設（10月～3月） テレワーク導入促進セミナー動画の配信（11月）</p>
<p>離職者等のための合同企業面接会開催事業（6-4-17）</p> <p>1. 趣旨・概要 離職者や就職氷河期世代を含む非正規雇用労働者、内定取消しを受けた者などを主な支援対象として、人手不足分野の企業等とのマッチングを図った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 離職者等のための合同企業面接会開催事業（3,402千円） 正社員就職に向けた合同企業面接会「かがわ正社員就職フェア」を開催するとともに、就職氷河期世代を対象として、正社員就職を支援するセミナーやキャリアカウンセリングを実施した。</p>	<p>かがわ正社員就職フェア1回（11月） 就職氷河期世代向けセミナー 2回 キャリアカウンセリング 44回</p>
<p>かがわL I V E就職説明会開催事業（6-4-18）</p> <p>1. 趣旨・概要 県内で開催されていた合同就職説明会の多くが中止となったことを受け、インターネット上で企業と学生等が出会う場を創出し、企業の採用活動と学生の就職活作動を支援した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) かがわL I V E就職説明会開催事業（2,559千円） W e b会議システムを活用して、県内企業が企業説明を行い、その場で学生等が企業に質問できるなど、相互に会話できるライブ配信型の説明会「かがわL I V E就職説明会」を開催し、県内企業と学生等のマッチングを図った。</p>	<p>かがわL I V E就職説明会 （6月に延べ8日間実施）</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>ワークサポートかがわWeb活動支援事業（6-4-19）</p> <p>1. 趣旨・概要 採用活動が滞っている県内企業や就職活動に不安を抱く若者（学生等）に対し、「ワークサポートかがわ」において、オンラインでの企業説明会等を実施するため、ICT環境の整備等を行い、企業の採用活動及び若者（学生等）の就職活動を支援した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) ワークサポートかがわWeb活動支援事業(1,746千円) ワークサポートかがわにおいて、オンラインでの企業説明会や、オンライン就活相談、就活セミナー等を実施するため、ICT環境を整備した。</p>	
<p>感染症の影響を受けた労働者のための就労継続等支援事業（6-4-20）</p> <p>1. 趣旨・概要 関係機関と連携し、雇用維持のための出向・転籍を促進するため、手続きや事例等を紹介するWebセミナーを開催するとともに、保護観察対象者等の就労継続等を図ることにより、再犯防止による地域の安全・安心の確保や、人手不足分野等における労働力を確保するため、保護観察対象者等の就労継続等の支援に取り組む団体に対し、補助を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 感染症の影響を受けた労働者のための就労継続等支援事業(2,300千円) 出向や転籍による労働移動になじみのない県内企業等に向けて、出向や転籍に関する手続きや事例、(公財)産業雇用安定センターの取組みなどを紹介・解説する動画を作成し、配信するとともに、保護観察対象者等の就労継続等の支援に取り組む団体に対して、その支援に係る経費の一部を補助した。</p>	<p>出向や転籍による労働移動促進セミナー動画の配信（2月） 補助実績1団体</p>

2. 課総括表

課名：労働委員会事務局
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
6-5-1	委員会事務	15,116	13,430		1,686	報酬 13,092 事務費 338
6-5-2	給与費	46,065	45,504		561	労働委員会事務局職員の給与費 給料24,027 職員手当13,461 共済費 8,016
6-5-3	一般事務	721	482		239	事務局運営に要する経費 482
	課計	61,902	59,416		2,486	

3. 職員数の状況 (3.31現在)

課名：労働委員会事務局
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備 考
労働委員会事務局	5		5	
合計	5		5	